

福祉から人権のバリアフリーへ

認定NPO法人ウィーログ
NPO法人PADM (遠位型ミオパチー患者会)
織田友理子・織田洋一





1

自己紹介

2

ウィーログ

3

SDGsと私

4

HLPF

5

ビヨンドSDGs

自己紹介



織田 友理子

認定NPO法人ウィーログ 代表理事
NPO法人PADM 代表

1980年

千葉県生まれ

2010年

ダスキン愛の輪基金 デンマークへ半年間留学

2014年

YouTube「車椅子ウォーカー」開始

2015年

Googleインパクトチャレンジグランプリ受賞

2017年

バリアフリーマップ「WheeLog!」アプリリリース

2018年

一般社団法人WheeLog設立 代表理事(現任)

東京都 福祉のまちづくり協議会委員就任(現任)

2019年

総務省 地域情報化アドバイザー就任(現任)

マサチューセッツ工科大学 MIT Solve Teams 選出

ドバイ万博 Expo Live Global Innovator 選出

『ジャパンSDGsアワード』内閣総理大臣賞 受賞

2023年

国土交通省 建築設計標準に関するフォローアップ会議委員就任(現任)

2024年

日本福祉のまちづくり学会 理事 (現任)

2025年





赤ちゃんの頃



幼稚園の運動会



管弦楽部 日本一



箏曲部 日本2位

食事は介助が必要



車いすで訪問した国・地域

2009年	アメリカ（グアム）
2010年	デンマーク半年間留学、ノルウェー、スウェーデン、イギリス
2011年	アメリカ（ハワイ）
2012年	スペイン（バルセロナ）
2013年	アメリカ（サンフランシスコ・ワシントンDC）
2014年	韓国、フランス、ドイツ（ベルリン）
2015年	ケニア、アメリカ（ニューヨーク・ロサンゼルス・ハワイ）、スペイン
2016年	カナダ、スペイン、アメリカ、台湾

2017年	スイス、ドイツ（フライブルグ）、アメリカ（ロサンゼルス）、台湾
2018年	オーストリア、アメリカ、マレーシア
2019年	ポルトガル・UAE2回、アメリカ、オランダ
2021年	UAE(ドバイ万博)
2022年	アメリカ（ロサンゼルス）
2023年	フィンランド、中国（上海）
2024年	スペイン（マドリッド・バルセロナ）
2025年	アメリカ（ニューヨーク）、台湾

ウィーログ



車いすだからあきらめる・・・？



車いすで海には
行けないだろう

情報



車いすで海に行って
家族と楽しめた

バリアフリー情報があると世界が変わる！



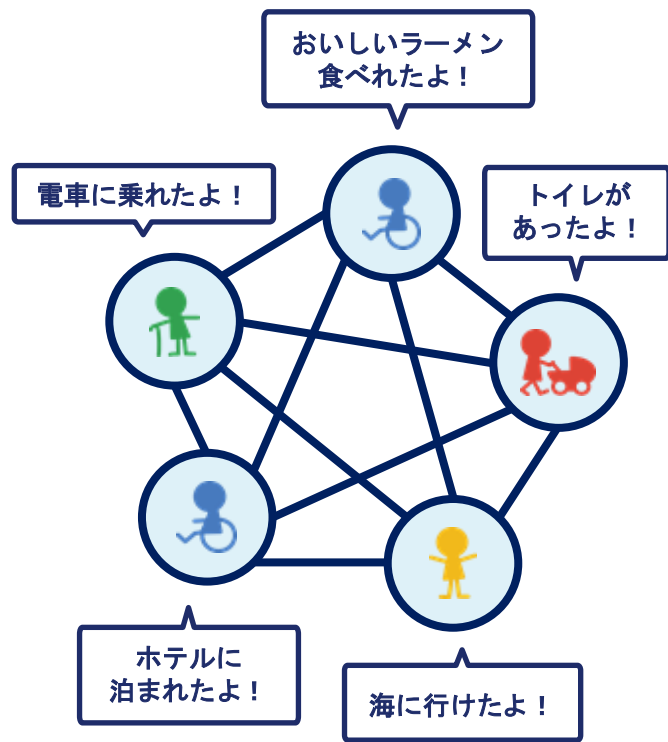


Googleインパクトチャレンジ
2015年3月



アプリのリリース
2017年5月

WheeLog! - みんなでつくるバリアフリーマップ



健常者 🧑 も障害者 ♿ もみんなが
バリアフリー情報を発信して共有できる
みんなでつくるバリアフリーマップ



あなたの行けたが
誰かの行きたいに

WheeLog!アプリについて



English
日本語
中文（简体）
中文（繁體）
한국어
español
português
français
Deutsch
русский

10

言語

- 車いすで通れる道「走行ログ」と、車いすで利用できる施設「スポット」を閲覧・投稿できます。
- 10言語に対応し、世界中でバリアフリー情報が登録されています。

4つのバリアを解消するために



情報

WheelLog!アプリ



- 10万ダウンロード
- 年間ユーザー約1.5万人



心

車いす街歩きプログラム



- 全国で60回以上
- 企業研修・授業等でも活用



物理

バリアフリー調査



- 商業施設・公園等で実施
- 国・企業等の事業受託



制度

政策提言

- 国・東京都のバリアフリー関連委員会
- 観光庁バリアフリー認定制度の推進

あなたの「行けた」が誰かの「行きたい」に！



自分が行った場所や行ける場所
を投稿していつて誰かのために
なっているというのがすごく嬉
しい

池田裕美 さん

車いす3Dシミュレーション機能（特許出願中）



SDGs と 私



人のために尽くせる
幸せな人になる

高校 2 年生の頃(1997年)



ケニアでの国際会議 (2015)



グローバル・アントレプレナーシップ・サミット 2015

Amazonで
好評発売中



誰一人取り残さない - No one will be left behind

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



HLPF



受賞実績（国内外）



**ジャパンSDGsアワード
内閣総理大臣賞**
外務省 (2023)



**good digital award
D&I部門最優秀賞**
デジタル庁 (2022)



**バリアフリー化推進功労者
大臣表彰**
国土交通省 (2020)



**STI for SDGs
文部科学大臣賞**
科学技術振興機構 (2020)



Expo 2020 Dubai
ドバイ万博のExpo Liveで
グローバルインベーターに選出



MIT Solve 2019
マサチューセッツ工科大学 (MIT)
社会課題助成プログラムに選出



World Summit Award (2018)
国連後援のWSAでベストデジタルソリ
ューションとして世界一に



Zero Project Award (2018)
Innovative Practice

『ジャパンSDGsアワード』 内閣総理大臣賞



(首相官邸ホームページより)

第7回
2023年12月19日





織田 友理子
(おだ ゆりこ)
特定非営利活動法人ウィー
ログ代表理事

千葉 宗一郎 氏
(ちば そういちろう)
サウザンドリーフ合同会社
会長
SDGs推進円卓会議 民間構成

安藤重実 氏
(あんどう しげみ)
外務省
国際協力局 地球規模課題総
括課長

蟹江 憲史 氏
(かにえ のりちか)
慶應義塾大学大学院 教授

宮路 拓馬 氏
(みやじ たくま)
外務省 衆議院議員 外務副
大臣



キーワードを検索



日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース 日経会社情報 人事ウオッチ NIKKEI Prime

トップ 速報 ビジネス マーケット 経済 国際 オピニオン もっと見る #米中「新

この記事は会員限定記事です

「米国型の障害者法、日本でも議論を」車椅子支援アプリ開発の織田氏

国際法・ルールと日本 +フォローする

2025年7月29日 3:00 (会員限定記事)



保存



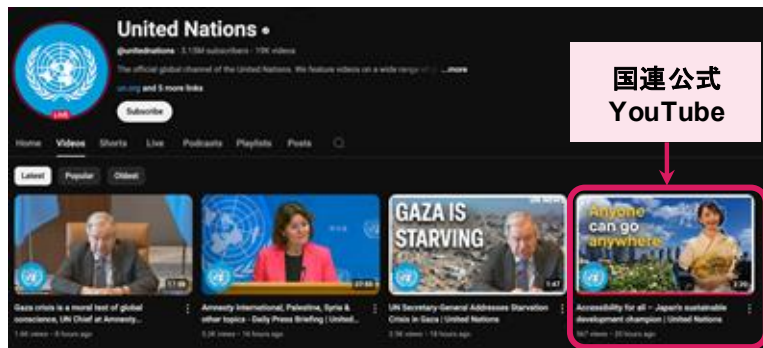
【ニューヨーク=川上梓】車椅子での外出支援アプリを開発するNPO法人ウィーログ（東京・千代田）代表理事の織田友理子氏がこのほど国連本部で演説した。難病と闘いながら活動を続ける織田氏は日本経済新聞の取材に応じ、日本も米国型の強制力ある法整備を議論する必要があると訴えた。

日本の取り組み、世界に発信

「誰もがどこへでも行ける世界をつくりましょう」。23日まで米ニューヨークの国連本部で開催された、持続...



国連ハイレベル政治フォーラム 2025/7



誰でもSDGsに貢献できる。助ける側にもなれる。

重度障害者であっても。

WheeLog!のような取り組みを通じて、

一人ひとりの経験が誰かの力となり、

その積み重ねが、持続可能な未来をつくる原動力になります。

SDGsは国や企業だけのものではありません。

どんな立場の人でも、自分なりの方法で世界に貢献できます。

それが、「誰一人取り残さない」世界をつくることにつながるのです。

ビヨンドSDGs



福祉的アプローチと人権に基づくアプローチ

社会の考え方を
アップデート

福祉的アプローチ



やってあげる
弱者保護

人権に基づくアプローチ



人間の尊厳を
守るために

バリアフリーの取り組み



情報

WheelLog!アプリ



心

車いす街歩きプログラ
ム



物理

バリアフリー調査



制度

政策提言

国や地方自治体の制度づくりに取り組む



2018年から東京都のバリアフリー条例などを都知事に諮問する、『東京都福祉のまちづくり推進協議会』の委員に就任

今年からは国土交通省の建築設計標準を検討する2つの会議の委員に就任



アクセシビリティが確保されることが、
人の尊厳確保に繋がる



日本のお店の80%以上に段差などのバリア



ITALIAN RESTAURANT
Shango



スロープはいらない



未来の段差”をなくしたい



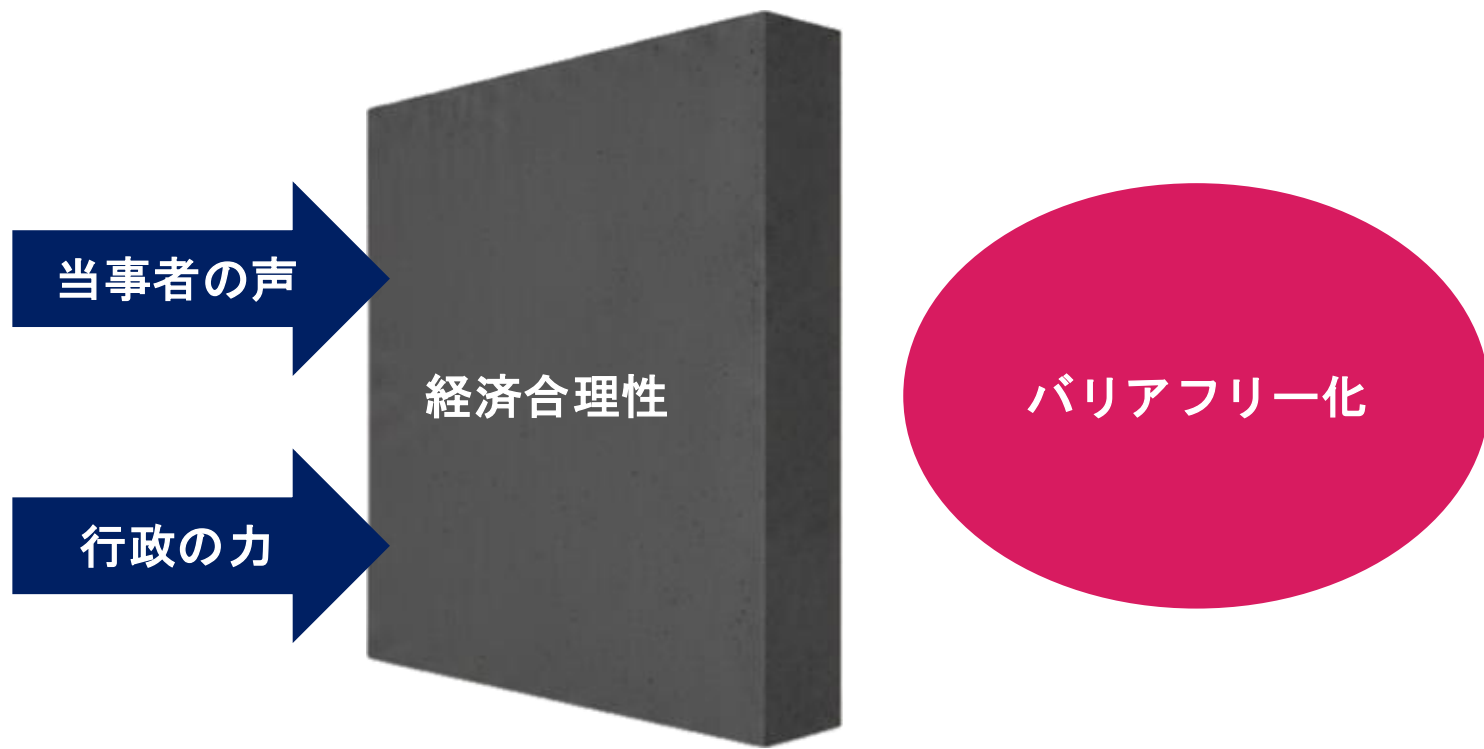
アメリカ（ロサンゼルス）



スペイン（バルセロナ）



鳥取県



段差のないフラットな社会



段差があることで、取り残される



段差のない社会

障害のあるなしに関わらず
誰もが社会に貢献できる





ご清聴ありがとうございました



HLPFとは？

持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム
(HLPF : High Level Political Forum on Sustainable Development)

SDGsのフォローアップとレビューのため、毎年7月に国連経済社会理事会主催で開催される閣僚級会合。全ての国連加盟国、国際機関、地域機関、市民社会等が参加する。

引用 https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_02461.html

VNRとは？

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、国連加盟国が、国及び地域レベルにおいて、

各々の国のイニシアティブで、定期的に持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）を巡る進捗に関する自発的国家レビュー（VNR: Voluntary National Review）を行うことを促しており、

毎年7月に国連経済社会理事会の下で開催される持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）で発表される。

日本は2017年、2021年にVNRを実施しており、今年、4年ぶり3回目のVNRを実施。

引用 : https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01932.html?utm_source=chatgpt.com